

報道資料

令和 5年 1月12日

1 件 名	「プログラミングを利用したクッキーづくり in 二島中学校」 について～やまぐち子ども未来型学習プロジェクト～
2 日 時	令和5年1月19日(木) 13:15～15:25
3 場 所	山口市立二島中学校(山口市秋穂二島10558-1)
4 内 容	<p>本市教育委員会と山口情報芸術センター[YCAM]が連携して実施する先進教育プロジェクト「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト(※1)」の一環として、山口市立二島中学校において「プログラミングを利用したクッキーづくり(※2)」を実施します。パナソニックホールディングス株式会社の高田 和豊氏とフードデザイナーの中山 晴奈氏を講師に招き、「プログラミングトースター」でクッキーをデザインすることをとおして、味や食感を科学的に考える授業を実施します。</p> <p>【日程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付 13:00～13:15 ※二島中学校玄関付近 ・概要説明 13:15～13:25 ・授業 13:35～15:25 <ul style="list-style-type: none"> ①イントロダクション ②演習Ⅰ「オトマトペからクッキーをつくろう」 ③演習Ⅱ「〇〇さんのためにクッキーをつくろう」 ④ふり返し



プログラミングトースター



他県の中学校での取組の様子

(※1) やまぐち子ども未来型学習プロジェクト

教育委員会とYCAMが連携し、山口の子どもたちに、ICT機器の操作方法や情報(メディア)リテラシーの習得を働きかけるとともに、情報を分かりやすく発信・伝達する能力やプログラミング的思考、情報モラルなどの情報活用能力を育み、これからの山口を担う人材の育成をめざします。



山口市

(※2) プログラミングを利用したクッキーづくり

パナソニックが教育カリキュラムとして開発したプログラミングトースターを活用し、山口市立二島中学校の生徒がクッキーづくりを行います。プログラミングトースターとは、MITメディアラボ(※)が開発したプログラミングソフト「Scratch」をベースにしたプログラムで制御ができるIoTトースターです。Wi-Fi/Bluetooth通信により、庫内温度の計測や遠赤、近赤ヒーターのON/OFFが可能です。プログラミングにより細かい熱のコントロールができ、味覚を使った様々な試行錯誤ができます。

※ MITメディアラボ・・・米国マサチューセッツ工科大学 建築・計画スクール内に設置された研究所

【講師紹介】

◆パナソニックホールディングス株式会社 高田 和豊

現在パナソニックホールディングス(株)テクノロジー本部主幹研究員。2016-2019年 MIT Media Lab/ Lifelong Kindergarten Group 客員研究員。人工知能分野における人の認知機能のモデル化や認知状態の推定、創造性教育に関する研究に従事している。博士(工学)。

◆フードデザイナー 中山 晴奈

東京藝術大学大学院先端芸術表現修了。在学時より、食べ物を使った美術表現の作品を制作・発表するとともに、研究論文を発表している。行政や生産現場と連携し、「食」をコミュニケーションツールにした総合的なデザインを行っている。

※報道機関の皆様へ

- ・マスク着用、手指消毒、事前の検温等の感染症対策に御協力をお願いします。
- ・取材を希望される場合は、1月17日(火)までに学校教育課(三時)まで御連絡ください。

5 出席者

山口市立二島中学校1・2年生(20名)及び教職員、YCAMスタッフ、パナソニック株式会社スタッフ、中山 晴奈氏 他

6 問い合わせ

山口市教育委員会事務局 学校教育課 Tel (083) 934-2863